サステナ経営検定３級第 23 回試験解答解説

［2026 年 11 月８日（日）実施］サステナ経営検定委員会／株式会社オルタナ

問題 1　**「サステナ経営の定義」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。**

正答：ア

サステナ経営は、サステナビリティを経営判断に組み込み企業価値と社会価値を同軸化し、社会課題の解決を通じて事業を創造すること。イ・ウ・エは定義に反する。（11 ページ）

公式テキスト：Chapter 1.1 サステナ経営の定義と目的

問題 2　**「SDGs」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。**

正答：イ

SDGs は 2015 年に国連で採択され、17 の目標と 169 のターゲットからなる。ア（2015 年採択・全ての国が対象）、ウ（環境以外も扱う）、エ（目標年は 2030 年）は誤り。（12 ページ）

公式テキスト：Chapter 1.2 SDGs とサステナ経営

問題 3　**「サステナ経営の世界潮流」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。**

正答：エ

CSV（共有価値の創造）はマイケル・ポーターらが 2011 年に提唱した概念であり、ナイキが提唱したものではない。（13-15 ページ）

公式テキスト：Chapter 1.3 サステナ経営の世界潮流

問題 4　**「大企業と中小企業の CSR」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。**

正答：イ

中小企業は、地域や得意先など特定のターゲットに合わせた CSR に取り組みやすい。ア（取り組みは可能）、ウ（ステークホルダーに伝えることが重要）、エ（中小企業も CSR の担い手）は誤り。（16 ページ）

公式テキスト：Chapter 1.4 大企業と中小企業の CSR

問題 5　**「伝統的な日本型 CSR の精神（石田梅岩）」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。**

正答：イ

石田梅岩は「お客様に満足していただく働きをすれば、必ず利益はいただける」（顧客満足の精神）と説いた。ア・ウ・エは梅岩の教えに反する。（18 ページ）

公式テキスト：COLUMN 1.4 伝統的な日本型 CSR の精神

問題 6　**「コンプライアンスの本質」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。**

正答：エ

コンプライアンスでは、法令の順守に加え、社内規則・業務マニュアルなどの社内規範や、社会規範の順守も重要とされる。「社内規範は含まれない」は誤り。（20-21 ページ）

公式テキスト：Chapter 1.5 コンプライアンスの本質

問題 7　**「サステナ報告書の役割と現状（GRI スタンダード）」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。**

正答：ウ

GRI スタンダードは、多様なステークホルダーの意見を取り入れる「マルチ・ステークホルダー・プロセス」によって策定された、サステナビリティ報告の基準である。ア（第三者認証規格ではない）、イ（投資家向けガイドラインではない）、エ（SDGs 戦略手法ではない）は誤り。（22 ページ）

公式テキスト：Chapter 1.6 サステナ報告書の役割と現状

問題 8 **「ISO26000」の７つの原則に含まれないものを一つ選べ。**

正答：エ

ISO26000 の７つの原則は、説明責任・透明性・倫理的な行動・ステークホルダーの利害の尊重・法の支配の尊重・国際行動規範の尊重・人権の尊重であり、「利益の最大化」は含まれない。（24-25 ページ）

公式テキスト：Chapter 1.7 ISO26000 とは何か

問題 9 **「国連グローバル・コンパクト（UNGC）」に関する次の文章の空欄に該当する語句・数字として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。**

正答：ア

A：環境（人権・労働・環境・腐敗防止の４分野）。B：10（10 原則）。C：2000（年に発足）。（26 ページ）

公式テキスト：Chapter 1.8 国連グローバル・コンパクト

問題 10 **「ESG 投資／サステナブル投資」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。**

正答：エ

ESG 投資は財務的リターンと ESG 課題への取り組みを統合して判断する投資であり、リターンを一切考慮しないわけではない。「一切考慮しない」は誤り。（28-29 ページ）

公式テキスト：Chapter 1.9 ESG 投資／サステナブル投資

問題 11 **「地方自治体の SDGs 政策」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。**

正答：ウ

「SDGs 未来都市」は、SDGs 達成に向けた自治体の取り組みモデルを選定する制度である。ア（世界遺産登録ではない）、イ（官民連携プラットフォームは企業・大学・NPO なども参加）、エ（国の政策と組み合わせて推進）は誤り。（30 ページ）

公式テキスト：Chapter 1.10 地方自治体の SDGs 政策

問題 12 **「企業と社会の関係性（三方よし）」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。**

正答：ア

「三方よし」は「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」を指す近江商人の経営哲学である。イ・ウ・エは誤り。（34 ページ）

公式テキスト：Chapter 2.1 企業と社会の関係性

問題 13 **「社会における企業の役割」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。**

正答：ウ

企業の責任はサプライチェーンだけでなく、製品の使用・廃棄を含めたバリューチェーンにも及ぶ。「バリューチェーンには及ばない」は誤り。（36 ページ）

公式テキスト：Chapter 2.2 社会における企業の役割

問題 14 **「ステークホルダーとは何か」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。**

正答：エ

ステークホルダーは株主だけでなく、顧客・従業員・地域社会・取引先なども含まれる。「株主だけを指す」は誤り。（38-39 ページ）

公式テキスト：Chapter 2.3 ステークホルダーとは何か

問題 15　「企業に求められる対話力」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

企業には、異なる価値観を持つステークホルダーとの対話を通じて落としどころを模索し、ルールの創造を進めることが求められる。ア・ウ・エは誤り。（40-41 ページ）

公式テキスト：Chapter 2.4 企業に求められる対話力

問題 16　「消費者重視経営とは何か」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

消費者はコアステークホルダーとして位置付けられており、企業は顧客だけでなく消費者全体を意識し、その権利を重視する必要がある。ア（働きかける存在でもある）、イ（苦情・意見の反映は重要）、エ（必要な情報を与えられる権利を持つ）は誤り。（42-43 ページ）

公式テキスト：Chapter 2.5 消費者重視経営とは何か

問題 17　「トリプルボトムライン（TBL）」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

TBL は、環境・社会・経済の３つの側面で企業を評価する考え方であり、経済的側面のみを評価するものではない。「経済的側面のみ」は誤り。（46-47 ページ）

公式テキスト：Chapter 2.6 トリプルボトムラインとは

問題 18　「ビジネスと人権」に関する次の記述のうち、適切な文章の組み合わせを一つ選べ。

正答：イ（１と３）

１・３が適切。２は不適切（家の手伝いや新聞配達などの軽易な労働は児童労働に含まれない）。４は不適切（気候変動は、食糧・水・自然災害などの問題を通じて人権に大きな影響を及ぼす）。（54-55、82-83 ページ）

公式テキスト：Chapter 2.9 ビジネスと人権、Chapter 4.4 世界の貧困と児童労働

問題 19　「企業の社会貢献と寄付」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ア

東日本大震災以降、寄付を行う人の割合は増加傾向にある。イ（個人寄付は増加）、ウ（NPO 支援は人材育成にも有効）、エは誤り（本業と関連付けた戦略的社会貢献も含む）。（52 ページ）

公式テキスト：Chapter 2.8 企業の社会貢献と寄付

問題 20　日本の「社会とつながる働き方」に関する次の文章の空欄に該当する語句・数字として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

A：働き方改革関連法。B：45（原則月 45 時間）。C：フレックスタイム制。（58 ページ）

公式テキスト：Chapter 3.1 社会とつながる働き方

問題 21　「NGO／NPO とは」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

NPO は社会課題の解決を目的とする市民の自発的な組織で、1998 年施行の NPO 法で法人格を得ることが可能になった。ア（利益の分配は目的でない）、ウ（行政の下部組織ではない）、エ（政党ではない）は誤り。（62 ページ）

公式テキスト：Chapter 3.2 NGO／NPO とは

問題 22　「ダイバーシティなど DEI」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ
DEI とは、ダイバーシティ（多様性）、エクイティ（公平性）、インクルージョン（包摂性）の頭文字である。ア（採用だけでなく包摂も必要）、イ（多様性はイノベーションの源泉になりうる）、エ（大企業だけの課題ではない）は誤り。（66-67 ページ）
公式テキスト：Chapter 3.4 ダイバーシティなど DEI

問題 23　**日本の「ワーク・ライフ・バランス（WLB）」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。**
正答：ア
A：次世代育成支援対策推進法。B：子育てサポート企業。C：くるみんマーク。（68 ページ）
公式テキスト：Chapter 3.5 ワーク・ライフ・バランス

問題 24　**「プロボノ」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。**
正答：ウ
A：プロボノ。B：2010（プロボノ元年）。C：イノベーション。（70-71 ページ）
公式テキスト：COLUMN ５ 「プロボノ」とは何か

問題 25　**日本の「SDGs と消費行動」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。**
正答：イ
個人の消費行動は、生産者や販売者など、さまざまな人や社会に影響を及ぼす。（72 ページ）
公式テキスト：Chapter 3.6 SDGs と消費行動

問題 26　**「気候変動交渉の動き」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。**
正答：ア
パリ協定は、気温上昇を産業革命前比「２度より十分低く」保ち、「1.5 度」に抑える努力を追求する。イ（数値目標を持つ）、ウ（先進国・途上国双方の課題）、エ（パリ協定は 2015 年に採択）は誤り。（76 ページ）
公式テキスト：Chapter 4.1 気候変動交渉の動き

問題 27　**「企業と脱炭素」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。**
正答：ウ
SBTi は、科学的根拠に基づく GHG 排出削減目標の設定を促す枠組みである。ア（スコープ１は自社の直接排出）、イ（スコープ３はサプライチェーン上の間接排出）、エ（大企業だけの課題ではない）は誤り。（78-79 ページ）
公式テキスト：Chapter 4.2 企業と脱炭素

問題 28　**「生物多様性」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。**
正答：エ
A：気候危機（と並ぶ二大課題）。B：自然資本。C：TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）。（80-81 ページ）
公式テキスト：Chapter 4.3 生物多様性

問題 29　**「世界の貧困と児童労働」に関する次の文章の空欄に該当する語句・数字として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。**
正答：ア
A：2.15（１日 2.15 ドル）。B：１億 3800 万人。C：8.7（SDGs ターゲット 8.7）。（82 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.4 世界の貧困と児童労働

問題 30 「エシカルなビジネス」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

エシカル消費には、エシカルな商品を進んで購入する行動と、エシカルではないという理由で商品をボイコットする行動が含まれる。ア（価格の安さだけではない）、ウ（認証ラベルは万能ではない）、エ（実践はまだ一部の層）は誤り。（84 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.5 エシカルなビジネス

問題 31 「フェアトレード」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

フェアトレードは、途上国の生産者の生活改善と自立をめざし、公正な条件で継続的に取引する仕組みである。ア（安く買いたたくものではない）、ウ（食品も対象）、エ（労働条件も対象）は誤り。（86 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.6 フェアトレード

問題 32 日本の「オーガニック／有機農業」に関する次の記述のうち、適切な文章の組み合わせを一つ選べ。

正答：ア（１と３）

１・３が適切。２は不適切（有機農業には生物多様性の維持への効果が期待される）。４は不適切（日本の有機農業は全農地のごく一部にとどまる）。（88-89 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.7 オーガニック／有機農業

問題 33 「自然エネルギーと RE100」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

自然エネルギーでも、大規模な太陽光発電による景観や環境破壊、輸入バイオマスの持続可能性などが問題になることがある。どのような形態の発電事業でも、持続可能性や地域住民との合意が不可欠である。（90-91 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.8 自然エネルギーと RE100

問題 34 日本の「障がい者雇用」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

法定雇用率は区分（民間企業／国・地方公共団体／教育委員会）により異なり、2.8%に統一されているわけではない。「全ての区分で 2.8%に統一」は誤り。（92 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.9 障がい者雇用

問題 35 「ソーシャルビジネス」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

ソーシャルビジネスの担い手は NPO に限られず、企業・協同組合・第三セクター的な事業体なども含まれる。「非営利団体に限られる」は誤り。（94-95 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.10 ソーシャルビジネス

問題 36 「サーキュラーエコノミー」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

サーキュラーエコノミーは、使い捨てプラスチックの利用を「拡大」するのではなく削減をめざす。「利用を拡大することが目的」は誤り。（96 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.11 サーキュラーエコノミー

問題 37　「海洋プラスチックごみ問題」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

2016 年のダボス会議で「2050 年までに海洋プラスチックの総量が魚の重量を上回る」と発表された。ア（日本は排出抑制を求めている）、イ（すべて回収は不可能）、エ（微細化してマイクロプラスチックとして残る）は誤り。（98 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.12 海洋プラスチックごみ問題

問題 38　「アニマルウェルフェア」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ウ

A：国際獣疫事務局（WOAH）。B：経済的利益。C：倫理的責任。（100 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.13 アニマルウェルフェア

問題 39　日本の「LGBTQ」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

A：LGBT 理解増進法（2023 年 6 月施行）。B：努力義務。C：全社的。（102-103 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.14 LGBTQ

問題 40　企業が、実際の取り組み以上に環境へ配慮しているかのように装って宣伝することを何というか、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

実際の取り組み以上に環境配慮を装って宣伝することを「グリーンウォッシュ」という。（104 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.15 グリーンウォッシュ